

週間自分予報

橘 左京 作

九月十日。私は来週末の十八、十九日に都内の公園で行われる食べ物系のイベントに出店する自社ブーシスの設営と運営を任されていた。イベント前日の十七日に上京して会場の設営を行うことになっていた。屋外のイベントは天候の良し悪しで客足が大きく変わる。折しも台風が日本列島に近づいている。気象庁が発表した台風情報によると、台風の予想進路上に関東地方が入っている。台風が関東地方を通過する時期とイベントの開催時期が重なっている。私はイベント開催の一週間前から都内の天気を調べることにした。

イベント一週間前の十一日。スマホのブラウザを起動させて、いつも利用している気象会社のウェブページを開いた。週間天気予報のページを開いたら、イベント初日の天気は「曇り後雨、降水確率六十%」だった。

おや、何だろう？

気象会社のウェブページに見慣れないバナー広告を見つけた。広告には「週間自分予報」三週間以内にあなたの身に起こる不幸な出来事を予測します！」と書いてある。

週間自分予報？占いの広告かな？

私の指が無意識に動いてこのバナーをクリックした。「フューチャー・プリデクション・アナウンスメント (FPA)」というウェブページが画面に表示された。

このページには、通常の検索サイトのように、検索エンジンの下に国内、国際、政治・経済、芸能、スポーツなど、ジャンル別に記事が閲覧できるようになっている。

ページの右側に「週間自分予報」というバナーを見つけたのでクリックした。開いたページには次の説明文が掲載されていた。

■当社 (FPA) が提供する「週間自分予報 (未来予測)」は、貴方や貴方のご家族が三週間以内に遭遇する不幸な出来事や経済的に不利な出来事について予測し、その内容を提供するサービスです。当社が独自に開発した未来予測は客観的、科学的根拠により裏付けされています。

■このサービスは有料会員の方だけがご利用いただけます。このサービスの利用を希望される方は会員登録にお進みください。

「会員登録」のバナーをクリックすると登録画面が現れた。氏名、生年月日、性別、住

所、電話番号、メールアドレスなど入力項目が二十もある。その上、アンケート調査まである。アンケート調査は設問が三十問もある。登録画面には次の但し書きが添えてあった。

「正確な情報入力によって、精度の高い未来予測になります」

こんなに沢山の個人情報を入力させる狙いは何だろうか？もしかして、このサイトは個人情報収集に違法に収集して、犯罪に利用しようと企んでいる闇サイトではないか？

疑念を抱いた私は「週間自分予報」の会員登録は保留にした。FPAのトップページに戻って、今度は「週間著名人・著名団体予報」のバナーをクリックした。開いたページには次のような説明文が掲載されていた。

■「週間著名人・著名団体予報（未来予測）」は国内外の著名人（著名団体）が一週間以内に遭遇するパブリックな出来事を予測してお知らせするものです。

■このサービスのご利用を希望される方は会員登録が必要です。会員は無料会員と有料会員の二種類あります。無料会員の方は出来事が発生する期日から四日前までの予測記事をご覧になります。有料会員の方は期日当日までの予測記事をご覧になります。

■まずは無料会員として登録していただき、当社が独自に開発した未来予測サービスを体験してください。なお初回会員登録の特典として、希望するジャンルの予測記事を有料会員と同じ待遇で、四週間ご覧いただけます。

会員登録は、氏名、年齢、性別、メールアドレスの四項目を入力すれば足りる。私は無料会員の登録をして未来予測の真贋を見分けることにした。会員登録の特典として「スポーツ」を選んだ。J1加盟の地元チームAの試合結果を知りたいからだ。早速、十九日にホームで行われる試合の予測結果を見ることにした。対戦相手のBは昨年の順位が最下位、一方Aは五位だった。Aの勝利は間違いないだろうと思って未来予測のページを開いたら、「二対一でBの勝利 発生率六十%、予測精度五」になっていた。予測精度は一から七まであり、数字が上がるにつれて精度は高くなる。私はFPAのページを閉じて、イベント当日の天気をもう一度確認しようと気象会社のウェブページに戻ったが、さっきまであった「週間自分予報」のバナーは消えていた。

おかしいな？まあいいや。ブックマークを付けておいたから大丈夫だ。

出張当日の十七日。今日の都内の天気は「曇り、降水確率三十%」。週間天気予報に載っている明日の天気も今日と変わらない。四国に上陸した台風は紀伊半島から北西に進路を変えて日本海側に向かって進んでいる。どうやら台風の影響はなくなったようだ。

一方、十九日のJ1リーグの試合の方は「二対〇でBの勝利 発生率七五%、予測精度六」の予測結果になっていた。

昨日よりもBの勝率が上がっている。しかも二点差で勝つという予測結果になっているが、ほんとうだろうか？

イベント初日の十八日。天気は「曇り後晴れ、降水確率二十%」で、雨の心配はなさそうだ。週間天気予報に載っている明日の天気も今日と変わらない。イベントは大勢の来客があつて盛況だった。初日のイベント終了後、明日のJ1リーグの試合予測を見たら「三対一でBの勝利 発生率九十%、予測精度七」となり、昨日よりもBの勝率が更に上がっていた。また予測精度も最高の七になった。

イベント二日目の十九日。天気は「曇り後晴れ、降水確率二十%」と、昨日と変わらず。二日もイベント会場に大勢の来場者が訪れた。J1リーグの試合は午後二時に始まった。イベントの後片付けが終わった後、J1リーグの試合結果を見たら、FPAの予測どおり三対一でBの勝利だった。

すごい！FPAの予測どおりの結果になった。
帰宅して夜のスポーツ番組を見て確認したら、Aチームのスタメン三人が試合当日、急きよ欠場したことが分かった。

まだFPAの未来予測の信憑性に疑問を抱いていた私は、今度は競馬で確認することにした。月末の日曜日に行われるG1レースで、FPAは「三連単の払戻金で二千万馬券が出た」という予測記事を書いていたが、結果はそのとおりだった。

私は四週間のお試し期間を使って、その間に行われるサッカーJリーグとプロ野球の公式戦の全試合について、FPAが出した試合結果の予測を実際の結果と突合した。得点の方は予測とは異なっていることもあったが、勝敗については全て未来予測が出した結果と一致していた。

すごいな！百発百中の精度だ。

お試しで体験した「週間著名人・著名団体予報」で未来予測の性能が証明された。「週間自分予報」の会員登録の時に抱いた疑念は晴れた。「週間自分予報」に会員登録すれば「週間著名人・著名団体予報」についても、有料会員待遇でいつでも利用できる。私は自分たち家族の平穏無事な生活を守るために、「週間自分予報」の会員登録を決断した。

会員登録に必要な情報を入力した後、「予定入力欄」に移って自分たち家族の予定を入れ

た。「予定入力欄」に「誰が、何時、何処で、何をするか」の四項目を入力した。

「週間自分予報」のサービスが始まって一か月後のある日。私は、いつものように「週間自分予報」のサイトを開くと、「大手食品製造メーカーA社の主力商品に異物が混入！」という見出しで予測記事が掲載されていた。A社は私が勤務する会社だ。

うちの会社の商品に異物が混入したって！どうしてだろうか？

私は記事を追った。

「大手食品製造会社A社のB工場で製造、出荷したお菓자에異物が混入していたことが判明。この工場から出荷されたお菓子を食べた子供たち数十人が下痢や嘔吐の症状を訴え、病院で手当てを受けている。警察は食品の製造過程で異物が混入したものとみて調べを進めている」

FPAは三週間後に発生するこの事件について、「発生率四十%、予測精度五」の未来予測情報として伝えた。

異物混入事件の発生まであと二週間に迫った。FPAが伝えた事件の続報を見て愕然とした。「A社B工場のパート従業員Cを食品衛生法違反容疑で逮捕！」という見出しが掲載されていたからだ。私は記事を追った。

「日頃から給料など会社の待遇に不満を抱いていたパート従業員Cが食品の原料となる小麦粉の入った貯蔵タンクに消石灰を混入した。消石灰（水酸化カルシウム）は消毒剤、酸性土壌の中和剤、さらし粉の原料などに用いられている。毒物指定は受けていないものの、多量に摂取すると呼吸困難、内出血、血圧上昇など健康への影響がある……」

FPAは「発生率六十%、予測精度六」の未来予測情報として伝えた。

異物混入事件の発生が一週間後に迫った。FPAは「A社B工場の異物混入事件に関して、社長が引責辞任！副社長以下経営幹部も監督責任をとって減俸！」という見出しで事件の続報を伝えた。監督責任を問われた経営幹部には執行役員製造部長の私も含まれていた。私は、翌日、本社に工場長を呼んで、Cの不審な動きを監視するよう指示した。

数日後、小麦粉の入ったタンクに消石灰を混入しようとしたCが取り押さえられ事件の発生は阻止された。翌日の新聞各紙は「食品に異物を混入しようとしたA社B工場のパート従業員 威力業務妨害罪違反容疑で逮捕！」という見出しで記事を伝えた。FPAの未来予測は、同じ内容の記事をCの身柄が拘束された前日に伝えていた。私はFPAのおかげで、不利益な出来事を回避することができた。

ある日、いつものようにスマホを開いて「週間自分予報」を見たら、三週間後に子供たちの生命を脅かす重大な危機が迫っていることを知った。FPAは「登校中の小学児童の列に車が突っ込み、児童八人が重軽傷！」という見出しで予測記事を掲載した。私は記事を追った。

「A県B市の路上で、午前八時頃、C小学校に登校中の児童の列に車が突っ込み、児童八人が重軽傷を負って近くの病院に救急搬送。病院に搬送された児童のうち二人が重体の模様。警察は自動車運転死傷処罰法違反容疑で、車を運転していた会社員Dをその場で逮捕。」

ええ、C小学校だって！うちの子供たちが通っている学校じゃないか！怪我をした八人の児童のなかにうちの子供たちが含まれているのだろうか？重体の二人は誰だろうか？

焦眉の急を告げる未来予測に衝撃を受けた私は、更に詳しい記事を追ったが、これ以上の情報は得られなかった。FPAは「発生率七十%、予測精度五」の未来予測情報として伝えた。

事故発生まであと二週間。FPAは「病院に搬送された児童八人のうち、重体の二人の児童が死亡！」という見出しで事故の続報を伝えた。私は記事を追った。

「A県B市の路上で登校中のC小学校児童の列に車が突っ込んだ事故で、重軽症を負い病院に搬送された児童八人のうち、重体だった二人の児童が死亡。死亡した児童は三年生のE男君と五年生のF男君。車を運転していた会社員Dの尿から禁止薬物が検出された。警察では、薬物の使用による幻覚症状で事故が引き起こされたものとみて調べを進めている」
ええ、E男とF男だって！ウチの子供たちじゃないか！どうして、うちの子供だけが亡くなるんだ！

私は驚愕した。FPAの未来予測数値は「発生率八十五%、予測精度六」に上がった。子供たちの身に危機が刻一刻と迫っている。

事故発生まであと一週間と迫った。FPAの未来予測数値は「発生率九十五%、予測精度七」と更に上がった。私は子供たちの身に迫る危機を取り除くための行動を起こした。

まず、事故が起きる前に会社員Dの身柄を拘束することだった。私はDが違法な薬物を所持、使用していることを警察に通報した。次に、子供たちの登下校時の見守りをお願いしている町内のGさんに頼んで、私も同行させてもらうことにした。

事故発生まであと一日。しかし、FPAの未来予測にはこの事故に関する続報は載っていないかった。

どうしてだろうか？もしかして警察はDの身柄を拘束したのかもしれない。

事件発生の当日を迎えた。私は見守り隊の一員として子供たちの登校に随行した。途中、事故もなく無事に学校の正門前で待っていた担任の先生に子供たちを届けることができた。翌日の新聞各紙は「禁止薬物の所持、使用の疑いで会社員を逮捕！」という見出しで記事を伝えた。

FPAの会員になって五年目を迎えた夏のある日。FPAから一通のメールが届いた。メールには次のメッセージが載っていた。

「日頃より、当社FPAの未来予測をご利用頂きありがとうございます。私は貴方様とご家族様の安全・安心な人生設計を担当しているXと申します。私は貴方の三十年先を生きている貴方です。FPAが貴方と貴方の家族の身边に起こる様々な出来事を予測できるのは、私が貴方だからです。貴方には予測できない未知の出来事が私には振り返ることのできる既知の出来事です。だから、貴方や貴方の家族が遭遇する不幸な出来事を予測しお知らせすることが可能です。私には小学生の二人の息子がいましたが、通学途中の交通事故で二人を亡くしました。私は明日、八十五歳の生涯を閉じます。貴方の余命は予測できませんが、貴方が八十五歳になるまでの間は、貴方と貴方の家族に不幸な出来事が起こらないことを保障します。貴方と貴方の家族の人生がこれからも幸多かれと、お祈りしてお別れの言葉に代えさせていただきます。長い間のご利用ありがとうございます。なお、このメールの受信記録並びにFPAのサイトは明日午前零時をもって消失いたします」

(了)